

2021年度事業報告・会計報告
及び2022年度事業計画案・収支予算案

2022年5月11日

東京都品川区西五反田一丁目26番2号
五反田サンハイツ内

公益社団法人 日本分析化学会

令和3年度事業報告書

(令和3年3月1日～令和4年2月28日)

会員の移動状況書

会員種別	員 数		増減数
	令和4年2月28日 現在	令和3年2月28日 現在	
名誉会員	50	51	-1
永年会員	311	341	-30
正会員	3,249	3,531	-282
学生会員	464	314	150
維持会員	182	192.5	-10.5
特別会員	519	524	-5
公益会員	313	322	-9
計	5,088	5,275.5	-187.5

1. 第10回定時総会（定款第17条）

日時 令和3年6月9日（水）

場所 日本分析化学会 Web 会議方式 総社員数 120 名 出席者数 110 名

2. 会誌、研究報告及び資料の刊行（定款第5条（1））

①学会誌「ぶんせき」を下記のとおりに発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 令和3年3月5日	2021 3	4500
至 令和4年2月5日	2022 2	4600

毎月1回5日に発行。学生会員には電子版のみ発行。

②和文論文誌「分析化学」を下記のとおりに発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 令和3年3月5日	70 3	1900
至 令和4年1月5日	71 1・2	1900

1, 3, 4, 6, 7, 9, 10, 12月5日発行)

③英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおりに発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 令和3年3月10日	37 3	620
令和3年12月10日	37 12	620

毎月1回10日に発行

英文論文誌「Analytical Sciences」を Springer Nature 社から下記のとおりに発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 令和4年2月28日	38 1	

④英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおりに発行した。

本誌はオンラインジャーナル。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 令和3年3月10日	37 3	
至 令和4年2月10日	38 2	

毎月1回10日に発行

⑤メールマガジンを毎月1回発行した。

⑥次の書籍を編集し、発行した。

- 1) 第4回 LC 分析士三段試験解説書（本会）
- 2) 第4回 LC/MS 分析士初段試験解説書（本会/LC 研究懇談会）
- 3) 第4回 LC/MS 分析士二段試験解説書（同上）

⑦教育用 DVD 並びにビデオシリーズの頒布を行った。

コロナウイルス感染拡大に伴い大学等でオンライン講義が増加したが、それに使用することを目的として、学会所有の教育用ビデオ、DVD を会員に無料公開した。令和3年度は継続登録者のみに公開した。令和2年度からの総アクセス数は33,159回再生であった。

3. 講演会、講習会及び研究会の開催（定款第5条（2））

[研究発表会]

①第81回分析化学討論会

日時 令和3年5月22日・23日

場所 オンライン開催（東北支部） 論文発表 278 件 参加者数 426 名

②第70年会

日時 令和3年9月22日～24日

場所 オンライン開催（近畿支部担当）講演数 486 件 参加者数 814 名

[講習会]

①第40回分析化学基礎セミナー（無機分析編）

日時 令和3年6月17日・18日

場所 オンライン開催 参加者 44 名

②第11回分析化学の基本と安全セミナー

日時 令和4年2月4日

場所 オンライン開催 参加者 45 名

4. 調査、研究及び建議（定款第5条（3））

[技能試験]

事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公開した。

①ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第23回ダイオキシン類分析（ばいじん）」

②ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第6回放射能分析（牛肉）」

[標準物質]

新規標準物質は作製せず、これまで開発した各種標準物質の安定性試験で品質を確認しながら、社会への供給活動を行った。

[関係団体との協力]

①次の諸団体に参画し、種々の調査・建議に協力した。

日本学術会議、（一社）化学情報協会、標準物質協議会、ASTANALYSIS 国際諮問委員会、（一社）日本化学連合/化学系学協会連絡会

②次の委員会に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。

（一社）日本化学工業協会、（一社）日本試薬協会、（一社）日本環境測定分析協会、（一社）日本分析機器工業会

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条（4））

①2021年度学会賞を次のとおり授与した。

石濱 泰 君「プロテオーム解析のための基盤技術開発と応用」

宗林 由樹 君「微量金属・同位体の精密分析法の開発と水圏環境化学の革新」

民谷 栄一 君「生体分子分析法のためのナノ・マイクロバイオセンサーの開発」

②2021年度学会功労賞を次のとおり授与した。

肥後 盛秀 君「金属薄膜の分析化学における利用に関する研究と学会への貢献」

③2021年度技術功績賞を次のとおり授与した。

野呂 純二 君「溶媒抽出の基礎的研究及び工業材料分析への応用」

松田 直樹 君「スラブ光導波路分光法による固液界面におけるその場観察方法の開発」

脇川 憲吾 君

白木 亮輔 君「誘導体化技術を駆使した質量分析による薬毒物分析法の高度化に関する研究」

④2021年度奨励賞を次のとおり授与した。

稲川 有徳 君「相分離により生じたマイクロ構造を利用した分離計測法の確立と界面物性の解明」

岩井 貴弘 君「大気圧プラズマを用いた微量試料の高精度無機・有機分析システムの開発」

坂口 洋平 君「高感度化および高精度化を指向した誘導体化 LC の開発と生体試料分析への応用」

菅沼 こと 君「溶液 NMR を用いたポリ乳酸のキャラクターゼーション」

福山 真央 君「自然乳化を利用した微量試料前処理操作の開発」

⑤2021年度女性 Analyst 賞を次のとおり授与した。

石垣 美歌 君「ラマン分光法、近赤外分光法を用いた生体の *in situ* イメージング分析」

保倉 明子 君「放射光 X 線を用いる植物の元素イメージングと微量元素の動態解明」

⑥2021 年度有功賞を次のとおり授与した(敬称略)。

安川 通	安東 政徳	加藤 治彦	川上 正
牧 徹	龍見 信之	伊藤 浩征	吉岡奈緒美
本吉 卓	明比 美鈴	伊藤 哲也	菊地 浩一
三部 俊行	白崎 裕司	小堀 一博	宿谷 貴之
長尾 虎義	井波 秀樹	岡崎 晃子	原口みゆき
増田由美子	渡辺 弘恵	賀嶋 能久	葛西 誠治
堀田 周次	又川 明彦	柴田 隆	熊谷 礼子
相沢 孝義	高羽 秀紀	山本 智彦	出原 英人
杉崎 敬子	西田 満	赤松 玲子	村井 一裕
竹田美和子	中岡 成晶	中矢 則子	中村 耕三
長橋 正明	藤田 一隆	渡辺千登司	転石 弘二
田所 英二	田中 健吉	渡辺 美泰	福本 正行
榎 朋博	和室 浩代	和田 丈晴	

⑦2020 年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。

稲川 有徳 君 上原 伸夫 君
「RGB-スペクトル変換法によるスマートフォン画像を利用した比色分析法の開発」

⑧他機関による表彰及び研究助成に対し会員を候補者として推薦した。

6. その他目的を達成するために必要な事業(定款第 5 条(5))

[広報]

広報委員会展望とトピックス小委員会において、第 81 回分析化学討論会及び第 70 年会研究発表の中で注目される研究内容を、小冊子「展望とトピックス」にまとめて発行し、ホームページを通し、また、報道機関の記者に同資料を配付して広報した。

[若手交流会]

年会討論会において若手ポスター賞選考を支援し、各支部での若手交流会企画を支援した。

[研究懇談会]

研究懇談会活動を次のように行った。

①有機微量分析研究懇談会

【委員長：酒井達子(名城大学)、委員 11 名、会員数 167 名(個人会員 160 名、顧問 7 名)】委員会を 2 回、オンラインで開催した。第 88 回有機微量分析研究懇談会、第 116 回計測自動制御学会化学量計測部会、第 38 回合同シンポジウムを 6 月 17 日・18 日にオンラインで開催(計測自動制御学会化学量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛)。その内訳は特別講演 2 件、口頭発表 14 件、ランチョンセミナー 2 件である。講演会(第 70 年会 9 月 22 日、オンライン開催、招待講演 1 件)を開催したほか、会報 23 号を発行(2 月)した。ホームページを再構築して情報発信を強化した。また標準試料検定小委員会において標準試料の検定作業を行った。さらに標準試料の需要に見合う供給体制の見直しを進めて整備を行い、これらを含め検定小委員会に関わる広報などを行った。

②ガスクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：佐藤 博(長崎国際大学)、運営委員会委員 56 名、会員数 92 名(個人会員 45 名、団体会員 44 機関、名誉会員 17 名)】運営委員会はメール・遠隔で 2 回開催、研究会と講習会の運営担当者間では会議を遠隔で複数回開催した。研究会開催数：4 回(第 373 回～376 回、第 374 回日本分析化学会第 70 年会講演、ガスクロマトグラフィー研究会特別講演会をオンラインで開催した。)一方、JAIMA コンファレンスの講習会(GC 編とセパレーションサイエンス編)はコロナ禍で中止、第 26 回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会(11 月 19 日、20 名)はオンライン開催。本部主催の日中韓シンポジウム 2021(中国)、東京都立産業技術研究所の見学会はコロナ禍で中止・延期となった。キャピラリー GC 講習会の副読本として、書籍「役に立つ GC 分析」を改訂して、「ガスクロ・ガスマス自由自在」として丸善から出版した。

③高分子分析研究懇談会

【委員長：香川信之(榊東ソー分析センター)、運営委員 14 名、企画委員 6 名、会員数 157 名(個人会員 59 名、法人会員 98 社)】開催数：運営委員会 8 回、企画委員会 2 回、例会 5 回(第 404 回～408 回；5 月 18 日、8 月 5・6 日、11 月 18 日、1 月

19 日、2 月 15 日)、第 70 年会における研究懇談会講演(9 月 22 日)、第 62 回高分子分析技術講習会(応用編)(3 月 9 日・10 日)、第 63 回高分子分析技術講習会(基礎編)(10 月 5・6 日)、第 26 回高分子分析討論会(10 月 28 日・29 日)をすべてオンラインで開催した。また、「分析化学」誌の高分子分析特集号刊行のため、小委員会を立ち上げて投稿募集を行った。2022 年 9 月号として刊行予定。

④X 線分析研究懇談会

【委員長：辻 幸一(大阪市立大学)、運営委員 30 名、参与 10 名、会員数 131 名(個人会員 111 名、団体会員 20 社)】開催数：例会 3 回(第 274 回・275 回・276 回)、運営委員会 2 回。「X 線分析の進歩」第 52 集をアグネ技術センターより出版したほか、第 57 回 X 線分析討論会(11 月 5 日・6 日、福岡大学-オンライン開催、参加者 116 名)を主催した。第 16 回浅田榮一賞を大淵敦司氏(榊リガク)に授与し、X 線分析討論会において 5 件の学生賞を選考し授与した。

⑤分析試薬研究懇談会

【委員長：片山佳樹(九州大学)、運営委員会委員 17 名、参与委員 15 名、会員数 103 名(個人会員 100 名、賛助会員 3 名)】開催数：1 回。第 70 年会において、分析試薬研究懇談会(9 月 23 日、オンライン、講演 1 件)を開催した。

⑥溶液界面研究懇談会

【委員長：塚原 聡(大阪大学)、運営委員 10 名、個人会員 104 名】開催数：1 回。神戸大学・オンラインで開催された第 70 年会の「界面・微粒子」セッションの中で 1 件の講演(9 月 23 日)を行った。

⑦液体クロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：中村 洋(東京理科大学)、役員会役員の数：40 名、会員数：210(個人会委員：151 名、団体会員：59 社)】コロナ禍の影響を受け、特別講演会・見学会、LC- & LC/MS-DAYS 2021 は中止に追い込まれたが、12 回の研究懇談会(第 357～368 回、Zoom ウェビナー)及び第 27 回 LC & LC/MS テクノプラザ(2022 年 1 月 27 日・28 日、Zoom ミーティング)を開催した。関東支部主催第 62 回機器分析講習会第 2 コース「HPLC と LC/MS の基礎と応用」(2021 年 11 月 29 日、Zoom ウェビナー)の開催に協力した。『第 4 回 LC/MS 分析士三段試験解説書』(2021 年 8 月 2 日～)及び『第 5 回 LC 分析士初段試験解説書』(2022 年 2 月 15 日～)のメールでの査読会を開催した。また、「第 4 回 LC 分析士三段試験解説書」(2021 年 4 月 26 日発行、日本分析化学会)、「第 4 回 LC/MS 分析士初段試験解説書」(2021 年 9 月 28 日発行、LC 研究懇談会)、「第 4 回 LC/MS 分析士二段試験解説書」(2022 年 1 月 11 日発行、LC 研究懇談会)を発行した。さらに、電子ジャーナル『LC と LC/MS の知恵』の第 2 号(2021 年 6 月 15 日発行)、第 3 号(2021 年 12 月 15 日発行)をホームページに掲載した。

⑧化学センサー研究懇談会

【委員長：久本秀明(大阪府立大学)、会員数 45 名(個人会員 45 名)】第 70 年会において化学センサー研究懇談会講演を行った(9 月 23 日、オンライン)。京都大学の白井理先生に講演をお願いし、「植物栄養成分のセンサーの開発」を拝聴した。多くの参加者があり、議論も盛況であった。

⑨電気泳動分析研究懇談会

【委員長：石濱 泰(京都大学)、顧問 8 名、常任委員 7 名、委員 33 名】第 41 回キャピラリー電気泳動シンポジウム(SCE2021、12 月、福岡)を共催した。また電気泳動分析懇談会賞(寺部茂賞)の表彰を行った。第 8 回寺部茂賞は東北大学壹岐伸彦教授に授与された。

⑩イオンクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：森 勝伸(高知大学理工学部)、運営委員会委員 23 名、会員数 83 名(個人会員 75 名、維持会員 7 社、団体会員 1 社)】運営委員会を 2 回(オンライン会議)開催した。日本分析化学 第 70 年会 研究懇談会講演会にてイオンクロマトグラフィー研究懇談会講演会を開催した(演者：隅田先生 9/22；高知県工業技術センター・Lim 先生 9/24；岐阜大)。第 37 回 IC 討論会をオンラインで開催した(12/3 参加者 56 名)。分析士(初段)はリモート試験で開催した(2022/1/24)。

⑪フローインジェクション分析研究懇談会

【委員長：手嶋紀雄(愛知工業大学)、運営委員会委員 50 名、会員数 111 名(個人会員 93 名、賛助会員 10 社、特別賛助会

員 8 社】講演会を 2 回（年會会期中（9 月 23 日，神戸大学（オンライン）），第 57 回 FIA 講演会（10 月 6 日，愛知工業大学（オンライン））を開催したほか，Journal of Flow Injection Analysis 誌の発行（38 巻 1，2 号）及びそのための編集委員会を 2 回（6 月と 12 月，メール会議），また褒賞委員会を 1 回（9 月，メール会議）開催した。

⑫環境分析研究懇談会

【委員長：梅村知也（東京薬科大学），委員 8 名，顧問 7 名，会員数 73 名（個人会員 70 名，グループ会員 3 名）】講演会を 1 回（年會会期中（9 月 23 日，神戸大学（オンライン））を開催した。コロナ渦ということで，通常であれば年會会期中に開催する運営委員会は取り止め，メールで必要事項を議論した。

⑬表示・起源分析技術研究懇談会

【委員長：安井明美（(国研)農業・食品産業技術総合研究機構），運営委員会委員 17 名，参与 4 名，個人会員 47 名，団体会員 14 社】3 月 4 日に第 23 回講演会（共催：フード・フォーラム・つくばフードセーフティ分科会），3 月 17 日に第 24 回講演会，9 月 3 日に第 25 回講演会（協賛：プラズマ分光分析研究会）を，それぞれオンラインにて開催した。運営委員会はオンラインにて 3 月に 1 回開催した。

⑭レアメタル分析研究懇談会

【委員長：小熊幸一（元千葉大学），運営委員会委員：11 名，会員数：20 名（個人会員のみのみ）】当研究懇談会独自の講演会は年度内開催を中止し，1 月 25 日～2 月 26 日にオンライン開催された令和 3 年度分析イノベーション交流会に参加した。

⑮熱分析研究懇談会

【委員長：西本右子（神奈川大学），運営委員会委員 8 名，個人会員 21 名，団体会員 8 社】対面での講演会，討論会を中止し，オンラインでのチュートリアルを 4 回（5/13，7/13，9/13，11/16）開催した。今後の活動について，運営委員会で議論を重ねた（オンライン運営委員会を 6 回開催した）。

⑯溶液反応化学研究懇談会

【委員長：梅林泰宏（新潟大学），運営委員会委員 18 名，会員数 18 名（個人会員 18 名，賛助会員 0 名）】講演会を 9 月 24 日の日本分析化学会第 70 年会（オンライン開催）で，運営委員会（メール会議）で開催した。

⑰電気分析化学研究懇談会

【委員長：前田耕治（京都工芸繊維大学），運営委員会委員 29 名，顧問 3 名】オンラインで開催された第 70 年会では，9 月 22 日に，懇談会主催で，椎木弘氏（大阪府大）による「電気化学的アプローチによる微生物分析」の招待講演を行い，活発な質疑が行われた。また，メール会議で運営委員会を開催し，若手を中心に運営委員の増員（3 名）を図り，翌年の第 82 回討論会に懇談会として討論主題「地域から世界に発信する電気分析化学」を応募することを決め採用された。

⑱ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会

【委員長：渡慶次学（北海道大学），副委員長：火原彰秀（東北大学），会員数：約 30 名（個人会員のみのみ）】12 月 6 日～7 日に開催された RSC Tokyo International Conference 2021（オンライン）に協力した。第 70 年会（オンライン）にて，9 月 24 日に研究懇談会講演会を開催した。3 月 5 日～9 日に開催された Pittcon2022 での PAI-NET Contributed Session 「Advances in bioanalytical technology using microfluidic devices」に協力した（後日オンラインが決定）。

⑲バイオ分析化学研究懇談会

【委員長：佐藤守俊（東京大学），運営委員会委員 9 名，顧問 2 名，会員数 11 名（個人会員 11 名，賛助会員 0 名）】2021 年 8 月 7 日，合同セミナー【第 9 回 Chem-Bio Joint Seminar 2021】をオンライン開催，50 名以上が参加しました。また，2022 年度の活動についてメール審議を行い，来年度はコロナ対策を施した上で 100%対面の合同セミナーを東大で行う方向で合意となった。

⑳スクリーニング分析研究懇談会

【委員長：津越敬寿（産業技術総合研究所），運営委員会委員 7 名，会員数 14 名（個人会員 10 名，団体会員 4 口）】新型コロナウイルス禍への感染予防対策のため，今期予定していた講演会は中止した。メーリングリスト等を使って，活動状況の情報発信を行うと共に，来期の運営方針や要望について会員

間で意見交換を行った。

【支部】

支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

①役員を選任

支部長	蠣崎 悌司		
副支部長	渡慶次 学	坂入 正敏	
参与	伊藤八十男	大谷 友二	片岡 正光
	片山 則昭	齋藤 健	神 和夫
	高橋 英明	長谷部 清	藤吉 亮子
	森田みゆき		
監事	伊藤 慎二	宇都 正幸	
庶務幹事	菅 正彦	三原 義広	
会計幹事	三浦 篤志	石田 晃彦	
幹事	青柳 直樹	今枝 佳祐	上野 貢生
	大木 淳之	岡 征子	奥田 弥生
	川口 俊一	(木村) 須藤 謙	工藤 英博
	黒澤 隆夫	齋藤 徹	堺井 亮介
	佐藤 久	真田 哲也	高瀬 舞
	田中 俊逸	谷 博文	田原 り子
	敦賀 昇	徳光 藍	富田 恵一
	中谷 暢丈	西村 一彦	沼田ゆかり
	真栄城正寿	松井 宏之	南 尚嗣
	諸角 達也	山田 幸司	吉田 将己
	若杉 郷臣		吉村 昭毅

②研究発表会

- 1) 夏季研究発表会（共催）：（オンライン）：7 月 17 日，一般講演 73 件，特別講演 2 件（参加者 189 名）。
- 2) 化学教育研究協議会（共催）：（オンライン）：11 月 13 日，特別講演 1 件，分析化学若手教育研究者による話題提供，自由討論を行った（参加者 55 名）。
- 3) 冬季研究発表会（共催）：（オンライン）：1 月 25～26 日，研究発表 136 件（口頭 91 ポスター 45），特別講演 1 件（参加者 363 名）。

③セミナー

- 1) 第 37 回分析化学緑陰セミナー：中止。
- 2) 2021 年公開 0 セミナー（ハイブリッド）：11 月 12 日，旭川工業高等専門学校（旭川市）開催，講演 2 件を行った（参加者 90 名）。
- 3) 第 57 回氷雪セミナー（オンライン）：1 月 11 日，講演 2 件（参加者 30 名）。

④交流事業

若手の会交流会：「九州支部若手の会」から講演者招聘中止。

⑤支部ニュースの発行

北海道支部ニュース第 63 号，第 64 号を発行した。

【東北支部】

①役員を選任

支部長	西澤 精一		
副支部長	遠藤 昌敏	大江 知行	
参与	秋葉 健一	宇野原信行	大関 邦夫
	大類 洋	荻野 博	長 哲郎
	小田嶋次勝	後藤 紘一	佐藤 允美
	南原 利夫	星野 仁	山崎 慎一
		志村 清仁	壹岐 伸彦
監事	志村 清仁		
庶務幹事	高貝 慶隆		
会計幹事	福山 真央		
幹事	赤坂 和昭	石川 大太郎	伊藤 徹二
	伊野 浩介	井上 久美	岩田 吉弘
	大橋 弘範	小川 信明	押手 茂克
	上條 利夫	唐島田龍之介	菊地 洋一
	熊谷 将吾	佐藤 勝彦	佐藤 健二
	猿渡 英之	珠玖 仁	鈴木 敦子
	多田 美香	寺前 紀夫	照井 教文
	中川 公一	中山 健一	西澤 松彦
	野原 幸男	橋本 隆光	橋本 幹雄
	平野 愛弓	平山 和雄	福島美智子
	藤村 務	末永 智一	松村 洋寿
	盛田 伸一	和久井喜人	渡辺 壱
	渡辺 忠一		

②研究発表会

1) 2021 年度化学系学協会東北大会 (主催: 日本化学会東北支部, 共催: 日本分析化学会東北支部): 10 月 2 日・3 日にオンライン開催で開催 364 件の講演があり, 508 名の参加登録があった。

③セミナー

- 1) 「分離機能とセンシング機能の化学セミナー」は, 新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの開催となった。招待講演 1 件が行われ 31 名の参加があった。
- 2) 令和 3 年度東日本分析化学若手交流会が関東支部との合同で開催され, 登録者 100 名 (一般 29 名, 学生 71 名) の参加のもと, 特別講演 1 件, 依頼講演 4 件, 講演 3 件, ポスター発表 30 件が行われた。
- 3) 東北支部各賞講演会: 12 月 11 日, 東北分析化学賞および東北分析化学功績賞の受賞講演をオンライン開催にて行った。東北分析化学賞は, 田副博文氏 (弘前大), 東北分析化学功績賞は, 小川信明氏 (秋田大) が受賞した。

④セミナー等共催事業

1) 第 38 回無機・分析化学コロキウムが 6 月 4 日にオンラインで開催され, 4 件の招待講演及び 7 件の依頼講演が行われた。

【関東支部】

①役員を選任

支部長	山本 博之				
次期支部長	津越 敬寿				
副支部長	四宮 一総	平山 直紀	安田 純子		
参 与	梅澤 喜夫	大橋弘三郎	岡田 哲男		
小 熊 幸一	金澤 秀子	楠 文代	合志 陽一		
澤田 清	渋川 雅美	菅原 正雄	杉谷 嘉則		
高田 芳矩	高村喜代子	田中 龍彦	角田 欣一		
中込 和哉	中村 洋	二瓶 好正	丹羽 修		
早下 隆士	平井 昭司	藤浪 眞紀	保母 敏行		
前田 瑞夫	宮村 一夫	望月 直樹	矢野 良子		
山崎 素直					
監 事	鈴木 康志	本田 俊哉			
常任幹事	会田 秀樹	石川 隆一	稲川 有徳		
岩崎 雄介	植田 郁生	上野 祐子	梅林 泰宏		
梅村 知也	江坂 文孝	大塚 克弘	岡村 浩之		
上村 真生	国村 伸佑	齋藤 伸吾	坂元 秀之		
佐藤 香枝	敷野 修	東海林 敦	菅沼 こと		
菅原 一晴	鈴木彌生子	高橋あかね	谷合 哲行		
豊田 太郎	並木 健二	野呂 純二	林 英男		
蛭田 勇樹	宮下 隆	山口 央	吉岡 拓哉		
吉田 達成					
支部幹事	青木 寛	伊藤 彰英	勝又 啓一		
加藤 健	亀田 直弘	土戸 優志	富田 峻介		
中村 圭介	福原 学	馬渡 和真	南 豪		
村田 英明	森岡 和大	山本 法央			

②講習会

1) 第 62 回機器分析講習会: 第 2 コース「HPLC と LC/MS の基礎と実践《初級者, 中級者のための実務講座》」を 11 月 29 日にオンライン形式で開催した (講演者 7 名, 受講者 16 名)。

③講演会・セミナー

- 1) ものづくり技術交流会 2021~分析に役立つ基礎技術~: 第 81 回分析化学討論会の関連行事として 5 月 21 日に開催 (参加者 100 名), また, 第 70 年会の関連行事として 9 月 21 日に開催した (参加者 166 名)。それぞれ分析イノベーション交流会が主催, 各討論会・年会実行委員会が共催となり, オンライン形式にて行った。
- 2) 新潟地区部会第 34 回研究発表会: 関東支部・同新潟地区部会の主催により 11 月 12 日にオンライン形式にて開催した (参加者 77 名)。支部長特別講演, 一般講演 6 件, ポスター発表 15 件, さらに新潟地区部会若手賞の表彰式が行われた。ポスター発表表彰式は 11 月 19 日に行われた。
- 3) 東日本分析化学若手交流会: 関東支部若手の会, 東北支部若手の会の主催, 各支部の共催により 11 月 26 日・27 日にオンライン形式にて行った (参加者 100 名)。支部長特別講演, 依頼講演 4 件, ポスター発表 30 件の他, 研究室紹介ワークショップなどが行われた。さらにポスター優秀発表,

ワークショップ優秀発表の授賞式が行われた。

- 4) 第 2 回群馬・栃木分析技術交流会: 関東支部, 群馬・栃木地区分析技術交流会の主催によりオンデマンド形式により 12 月 6 日~10 日の間開催した。3 件の講演が行われ, 動画再生は 68 回であった。
- 5) 新世紀賞授賞式および講演会: 1 月 6 日に JEOL 大手町会議室とオンラインのハイブリッド形式で開催した (参加者数 50 名)。新世紀賞受賞者は, 島田亜佐子君 (日本原子力研究開発機構) および森田耕太郎君 (東邦大学), 新世紀新人賞受賞者は, 小汲佳祐君 (東京都立産業技術研究センター) である。
- 6) 分析イノベーション交流会: 分析イノベーション交流会の主催により 1 月 25 日・26 日にオンライン形式にて開催した (参加者数 200 名)。討論主題として「カーボンニュートラル」, 「前処理」を設定し, ショートプレゼンテーションとともにオンライン展示会等が行われた。

④助成

1) 分析イノベーションフォーラム助成: 「その場診断に役立つ分析化学“Diagnostic Chemistry”フォーラム」代表者: 渡辺日香里君 (東京理科大学) (2021 年 10 月から 2023 年 2 月) を採択した。

【中部支部】

①役員を選任

支部長	栗原 誠				
次期支部長	長谷川 浩				
副支部長	内村 智博	北川 慎也			
顧 問	板谷 芳京	上田 一正	上田 穰一		
太田 清久	北川 邦行	酒井 忠雄	佐々木与志実		
田口 茂	柘植 新	津田 孝雄	寺田喜久雄		
永長 幸雄	中村 俊夫	野村 俊明	早川 和一		
原 稔	平出 正孝	舟橋 重信	本浄 高治		
三輪 智夫	村田 旭	山田 真吉	山寺 秀雄		
参 与	一ノ木 進	井村 久則	宇野 文二		
大谷 肇	小谷 明	小泉 貞之	竹内 豊英		
田中 智一	遠田 浩司	中田 隆二	波多 宣子		
服部 敏明	馬場 嘉信	樋上 照男	藤本 忠蔵		
湯地 昭夫					
監 事	石田 康行	金子 聡			
庶務幹事	加藤 亮	眞塩 麻彩実			
会計幹事	村上 貴哉	安井 孝志			
常任幹事	飯國 良規	太田 一徳	金 継業		
佐澤 和人	高橋 透	立石 一希	手嶋 紀雄		
長谷川 浩	湯川 博	リムリーワ	藁科 知之		
幹 事	伊藤 雅章	太田 鑑	大橋 芳明		
小川 数馬	奥山 修司	甲斐 穂高	加賀谷重浩		
香川 信之	勝又 英之	加藤 仁志	菅野 憲		
儀賀 義勝	北川 均	北出 和久	木全 良典		
後反 克典	坂江 広基	妹尾 健吾	高橋 史樹		
巽 広輔	轟木堅一郎	西山 嘉男	丹羽 敏之		
丹羽 啓誌	古川 真衣	松宮 弘明	御子柴正明		
南谷 臣昭	村上 貴哉	山腰 亮子	山下 智富		
吉田 佳宏					

②講演会

- 1) 北陸地区講演会 (福井地区): 7 月 16 日, オンラインで開催, 講演 3 件を行った (参加者 87 名)。
- 2) 長野地区講演会: 9 月 30 日, 信州大学理学部 2 講義室オンライン同時中継で開催, 講演 3 件を行った (参加者 106 名)。
- 3) 愛知地区講演会: 10 月 20 日, オンラインで開催, 講演 2 件を行った (参加者 38 名)。

③講習会

1) 第 31 回基礎及び最新の分析化学講習会: 11 月 9 日, オンラインで開催, 講義 6 件を行った (参加者 30 名)。

④セミナー

- 1) 「第 39 回分析化学中部夏期セミナー」は 2022 年度に延期となった。
- 2) 「分析中部・ゆめ 21」若手交流会・第 21 回高山フォーラム: 11 月 13 日, オンラインで開催, 中部分析化学奨励賞受賞講演 2 件, 招待講演 2 件, ポスター発表 60 件を行った

(参加者 84 名).

【近畿支部】

① 役員を選任

支部長	村松 康司				
副支部長	森田 成昭	安川 智之			
庶務幹事	北隅 優希	末吉 健志			
会計幹事	糟野 潤	小池 亮			
参 与	荒川 隆一	池田 重良	池田 篤治		
池田 昌彦	小川 禎一郎	尾崎 幸洋	垣内 隆		
加納 健司	木原 壯林	木村 恵一	木村 優		
紀本 岳志	日下 讓	小島 次雄	佐伯 正夫		
佐藤 昌憲	澁谷 康彦	田中 久	田中 稔		
谷口 一雄	千熊 正彦	辻 治雄	寺部 茂		
中川 照眞	中原 武利	萩中 淳	藤田 芳一		
藤原 英明	穂積啓一郎	増田 嘉孝	松井 正和		
松下 隆之	八尾 俊男	横井 邦彦	脇阪 達司		
渡辺 巖	渡會 仁				
常任幹事	石切山一彦	岩月 聡史	大城 敬人		
岡本 行広	北山 紗織	久保 拓也	鈴木 雅登		
諏訪 雅頼	高原 晃里	田中 陽	中田 靖		
向井 浩	山口 英一	山本佐知雄	吉田 朋子		
幹 事	青山 佳弘	浅川 大地	飯田 琢也		
石濱 泰	磯尾賢太郎	伊藤 滋之	岩井 貴弘		
岩本 仁志	上田 啓太	宇田 亮子	遠藤 達郎		
大塚 利行	大塚 浩二	奥田 浩子	小堤 和彦		
小山 宗孝	門 晋平	河合 潤	川上奈津子		
川崎 英也	河原 直樹	川元 達彦	木村 敦臣		
久保田直哉	久保公二	倉内 奈美	桑本 恵子		
小菅 俊二	小林 典裕	小林 宏資	坂本 英文		
佐々木健次	佐々木隆之	作花 哲夫	椎木 弘		
下赤 卓史	下条晃司郎	下山 昌彦	許 岩		
白井 理	杉原 崇康	杉山 雅人	鈴江 崇彦		
鈴木 茂生	鈴木 哲仁	瀬戸 康雄	宗林 由樹		
高木 達也	高野祥太郎	高橋 弘樹	竹田さほり		
田中 章夫	田邊 一郎	千葉 光一	茶山 健二		
塚越 一彦	塚原 聡	塚本 効司	辻 幸一		
角井 伸次	壺井 基裕	坪井 泰之	天満 敬		
土井 光暢	床波 志保	鳥羽真由子	豊田 岐聡		
永井 秀典	中川 讓	中澤 隆	中島 陽一		
中原 佳夫	並川 敬	中山 茂吉	西 直哉		
西尾 友志	西埜 誠	野田 達夫	萩森 政頼		
橋田紳乃介	長谷川 健	張野 宏也	東 昇		
久本 秀明	藤居 義和	藤嶽 暢英	藤森 啓一		
藤原 学	布施 泰朗	細矢 憲	堀田 弘樹		
堀山志朱代	本間 秀和	前田 耕治	牧 秀志		
松尾 修司	松本 明弘	丸尾 雅啓	三木功次郎		
三戸彩絵子	宮崎 哲男	宮道 隆	村上 正裕		
森内 隆代	森澤 勇介	矢嶋 撰子	安井 裕之		
山垣 亮	山口 敬子	山本 茂樹	山本 雅博		
吉田 裕美	脇田 慎一	渡邊 誠也			

② 講演会

- 1) 第 16 回近畿分析技術研究奨励賞表彰式・受賞講演会：3 月 12 日，オンラインで開催，表彰・受賞講演 2 件を行った。
- 2) 第 1 回支部講演会：4 月 9 日，オンラインで開催，講演 1 件を行った。
- 3) 第 2 回支部講演会：7 月 16 日，オンラインで開催，講演 1 件を行った。
- 4) 第 3 回支部講演会：12 月 3 日，オンラインで開催，講演 2 件を行った。

③ 講習会

- 1) ぶんせき講習会・基礎編その 1：5 月 14 日，オンラインで開催，講義・講習 4 件を行った（受講者 73 名）。
- 2) ぶんせき講習会・発展編：11 月 26 日，オンラインで開催，講義と演習を行った（受講者 39 名）。
- 3) 予定されていたぶんせき講習会・基礎編その 2，実践編は，コロナ禍の影響で中止となった。

④ セミナー

- 1) 提案公募型事業は申請が無く，開催されなかった。
- 2) 第 15 回近畿支部夏季セミナー「ぶんせき秘帖」は，7 月 31

日から 8 月 1 日にかけてオンラインで開催された。

⑤ 支部ぶんきんニュースを 2 回発行した。

【中国四国支部】

① 役員を選任

支部長	中山 雅晴				
次期支部長	朝日 剛				
副支部長	藤原 薫				
支部参与	池田 早苗	伊藤 一明	今井 嘉彦		
岩知道 正	奥村 稔	木ト 光夫	熊丸 尚宏		
善木 道雄	田頭 昭二	竹味 弘勝	中野 惠文		
林 康久	平田 静子	廣川 健	藤原 照文		
北條 正司	真鍋 敬	宮田 晴夫	本仲 純子		
本水 昌二	森田 秀芳	山崎 恒博			
支部監事	金田 隆	若林 茂夫			
庶務幹事	浅野 比	小崎 大輔	管原 庄吾		
水口 仁志					
会計幹事	竹田 一彦	西本 潤			
常任幹事	一色 健司	石坂 昌司	泉 雅典		
今井 昭二	上田 忠治	上田 真史	越智 一志		
紙谷 浩之	北出 哲朗	北山 宏三	小園 修治		
座古 保	高柳 俊夫	田所 大典	田中 秀治		
谷崎 達也	谷本 典之	大野 洋信	西 博行		
早川慎二郎	原 哲也	村上 良子	森本 稔		
藪谷 智規	横山 崇	吉田 和広	吉村 友宏		
和田 修治					
支部幹事	浅岡 聡	安達 健太	井上 裕文		
牛島 淳憲	小野 浩	片岡 洋行	荻部 甚一		
川村 邦男	小松原恒生	島崎 洋次	竹内 政樹		
竹永 史典	武安 伸幸	谷村 俊史	永阪 文惣		
西脇 芳典	樋口 浩一	藤井 健太	藤原 勇		
淵脇 雄介	松原 弘樹	森 勝伸	門木 秀幸		
山下 浩	山本 剛	山本 孝	吉岡 徹		
和田 光弘					

② 研究発表会

- 1) 第 28 回クロマトグラフィーシンポジウム：6 月 10 日・11 日，オンライン開催（共催）（招待講演 2 件，依頼講演 6 件，口頭発表 11 件，ポスター発表 31 件，参加登録者 134 名）。
- 2) 2021 年日本化学会中国四国支部大会：11 月 13 日・14 日，高知工科大学・オンライン開催（共催）。

③ 講演会

- 1) 中国四国支部分析化学講演会：3 月 26 日オンライン開催（講演 1 件，参加者 26 名）。
- 2) 岡山地区講演会（岡山地区分析技術懇談会と共催）：2021 年度は開催せず。
- 3) 広島地区講演会（広島地区分析技術研究会と共催）：3 月 26 日オンライン開催（講演 3 件，参加者 26 名）。
- 4) 宇部・山陽小野田地区講演会（宇部地区分析技術研究会と共催）：2 月 10 日オンライン開催（講演 2 件）。
- 山口地区講演会（山口機器分析研究会と共催）：2021 年度は開催せず。
- 5) 愛媛地区講演会（愛媛県産業技術研究所，愛媛大学紙産業イノベーションセンターと共催）：2021 年度は開催せず。
- 6) 徳島地区講演会（徳島化学工学懇話会と共催）：2021 年度は開催せず。
- 7) 鳥取地区講演会（鳥取総合分析研究懇談会と共催）：2021 年度は開催せず。
- 8) 島根地区講演会（島根環境分析化学・陸水化学懇話会と共催）：2021 年度は開催せず。
- 9) 高知地区講演会（高知地区分析技術懇談会と共催）：2021 年度は開催せず。
- 10) 外国人学者講演会：2021 年度は開催せず。

④ セミナー

- 1) 第 27 回中国四国支部分析化学若手セミナー：6 月 26 日，高知大学・オンライン開催（参加者 47 名）。

【九州支部】

① 役員を選任

支部長	井原 敏博
次期支部長	富安 卓滋
副支部長	田中 充 高橋 政孝

参 与	飯盛喜代春	石黒 慎一	今坂藤太郎
今任 稔彦	岩崎 正武	大森 保	鎌田 薩男
喜納 兼勇	黒木 広明	合屋周次郎	財津 潔
城 昭典	下田 満哉	高舘 明	谷口 功
田端 正明	出口 俊雄	中島憲一郎	中村 博
増田 義人	松本 清	山口 政俊	山田 淳
脇田 久伸			
監 査	黒田 直敬	栗原 龍	
庶務幹事	水城 圭司		
会計幹事	北村 裕介		
常任幹事	石川 洋哉	稲田 幹	大島 達也
大庭 義史	川上 健次	栗崎 敏	高橋 幸奈
西田 正志	浜瀬 健司	原田 雅章	松田 直樹
松森 信明	吉留 俊史		
幹 事	新垣 雄光	安藤 功	井倉 則之
池上 天	石岡 寿雄	石田 雄士	井上 高教
内原 博	宇都宮 聡	梅木 辰也	王子田彰夫
大渡 啓介	大平 慎一	岡上 吉広	尾本 憲昭
恩田 健	加地 範匡	片山 佳樹	加藤 祐子
金房 純代	梶島 力	梶島 正美	上畑桂太郎
河済 博文	川畑 明	神崎 亮	岸川 直哉
木下 将和	呉 行正	児玉谷 仁	財津 慎一
笹木 圭子	佐藤 博	佐藤しのぶ	佐藤 正雄
佐野 洋一	澤津橋徹哉	塩路 幸生	清水 陽一
白土 英樹	末田 慎二	宗 伸明	高橋 章
高橋 浩司	高椋 利幸	竹中 繁織	竹原 公
田中 明	天日 美薫	戸田 敬	富永 昌人
中島 常憲	中園 学	中武 貞文	中野 幸二
中村 沙織	新留 康郎	能田 均	能登 征美
野間 誠司	馬場 由成	巴山 忠	原口 浩一
原田 明	肥後 盛秀	藤井 清永	前田 明広
増田 寿伸	真瀬田幹生	又吉 直子	松井 利郎
松野 康二	松本 篤彦	光井 康浩	満尾 良弘
満塩 勝	三宅 孝彰	村田 正治	森 健
安田みどり	藪下 彰啓	山口 敏男	山下 将一
横山さゆり	横山 拓史	吉田 亨次	吉田 祐一
吉田 秀幸	吉村 和久		

②研究発表会

- 1) 第 58 回化学関連支部合同九州大会 (共催): 7 月 3 日, オンライン形式で開催. 優秀ポスター発表 5 件を「九州分析化学ポスター賞」として選出.

③講演会・セミナー

- 1) 第 34 回若手研究講演会および第 39 回夏季セミナー (主催): 7 月 23 日, オンライン形式で開催 (参加者数: 122 名).
- 2) 機器分析ワークショップ (主催): 新型コロナウイルス感染症の影響により, 開催中止.
- 3) 九州支部講演会・見学会 (主催): 11 月 1 日, 九州支部講演会を熊本大学黒髪南キャンパス 工学部百周年記念館で開催. 見学会は, 新型コロナウイルス感染症の影響により, 開催中止.

④講習会

- 1) 第 61 回分析化学講習会 (主催): 8 月開催予定, 新型コロナウイルス感染症の影響により, 開催中止.
- 2) HPLC 講習会 2021 (主催): 8 月 11 日, 九州大学馬出キャンパスで開催 (参加者数: 20 名).

⑤支部ニュース

- 支部ニュース第 44 号 (8 月) 及び第 45 号 (3 月) を発行.

令和4年度事業計画書

(令和4年3月1日～令和5年2月28日)

1. 定時総会の開催 (定款第17条)

第11回定時総会を下記のとおり行う。

日時 令和4年5月11日(水)14時より

場所 Web会議

参加予定者数120人。

2. 会誌、研究報告および資料の刊行 (定款第5条(1))

①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。

2022年第3号～2023年第2号 毎月1回、5日に発行(各号A4判、100ページ)。電子版発行(全ての団体会員と個人会員の希望者には冊子体発行)

②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。

第71巻第3号～第12号を7回、および第72巻第1号と2号の合併号を2023年1月に、それぞれ5日に発行(各号A4判、90ページ)発行部数1,900

③英文論文誌「Analytical Sciences」をSpringer Nature社から下記のとおり発行する。

Vol.38, No.3～Vol.39, No.2を毎月1回発行

④英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」のVol.38, No.3を発行する(Webのみによる無料公開)。

2022年3月をもって休刊とするが、既刊分のWEB上での掲載は継続する。

⑤学会、ぶんせき、分析化学、Anal. Sci.4種のメールマガジンを発行する。

⑥「分析士試験問題の解説」(本会)等の書籍を出版する。

3. 講演会および研究会の開催 (定款第5条(2))

各支部ならびに研究懇談会が主催するものは別に記載する。

[研究発表会]

①第82回分析化学討論会を下記のとおり行う。

日時 令和4年5月14日(土)・15日(日)

場所 茨城大学水戸キャンパス(オンライン方式も併用予定)

参加予定者数605人

②第71年會を下記のとおり行う。

日時 令和4年9月14日(水)～16日(金)

場所 岡山大学津島キャンパス 参加予定者数1,035人

4. 調査、研究および建議 (定款第5条(3))

[技能試験] 参加予定試験所数:合計100試験所

ISO/IEC17043に基づく分析試験所技能試験を行う。

予定テーマ

ダイオキシン類分析技能試験(底質) 50試験所

放射能分析技能試験(しいたけ) 50試験所

[標準物質]

新標準物質は作製せず、これまで開発してきた各種標準物質の安定性試験を必要に応じて実施し、社会への供給活動を継続する。

5. 研究の奨励および研究業績の表彰 (定款第5条(4))

①学会賞、学会功労賞、技術功績賞、奨励賞、有功賞、「分析化学」論文賞、先端分析技術賞ならびに女性Analyst賞を下記のとおり表彰する。

学会賞(3名以内)、学会功労賞(5名以内)、技術功績賞(3名以内)、奨励賞(5名以内)、有功賞(50名程度)、「分析化学」論文賞(2編以内)、先端分析技術賞(2名以内)、女性Analyst賞(2名以内)

②他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

6. その他目的を達成するために必要な事業 (定款第5条(5))

①コロナ禍のもとで可能な限りの下記分析士認証活動を行う。

液体クロマトグラフィー分析士、LC/MS分析士、イオンクロマトグラフィー分析士の認証試験。

分析士会を開催して講演会などの活動を行う。

②アジアの分析化学者との連携をはかる。

③ホームページを充実し、本会から会員への情報提供、会員相互のコミュニケーション促進などに役立てるとともに、本会の社会への窓口として有効に活用する。

④本会の広報活動として、各種展示、分析化学討論会および年会におけるハイライト講演をまとめた冊子「展望とトピックス」の発行および報道関係記者への連絡などを行う。

⑤若手交流会の活動を次のとおり行う。

・各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。

・分析化学討論会及び年会において若手ポスター賞選考を行う。

7. 各研究懇談会の事業計画

①有機微量分析研究懇談会

委員会を2回、第89回有機微量分析研究懇談会シンポジウム(計測自動制御学会・力量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛)を6月に北海道札幌市(北海道大学学術交流会館)、講演会(第71年會会期中)、第1・2回マイクロ電子天びんオンラインセミナー(座学オンライン)を開催するほか会報第24号(2023年2月)を発行する。ホームページにてアーカイブ資料等を公開し、内容の充実を図る。なお、第89回シンポジウム及び委員会は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、開催方法がオンラインに変更になる場合がある。

②ガスクロマトグラフィー研究懇談会

例会を数回、特別講演会、講習会(実習付含む)を開催する。例会の中で基礎講座を開催する(受講証を発行)。開催形式としてWebセミナーを取り入れる。年会で特別講演会を開催する。本部運営となった日中韓シンポジウムの開催(中国)に協力する。JAIMAコンファレンスで講習会・講演会を実施する。ガスクロ誕生70周年記念事業として表彰等の準備に着手する。研究懇談会活動の過去記録、講演会資料等をホームページで公開する等更にホームページを充実させる。運営委員会をWEB併用して開催する。

③高分子分析研究懇談会

例会を5回(夏期合宿については中止し、代替例会を開催)、年會時に講演会を開催、高分子分析技術講習会を2回(前期:基礎編、後期:応用編)、第27回高分子分析討論会を10月に名古屋国際会議場で開催する。また、「分析化学」誌の高分子分析特集号を刊行する。

④X線分析研究懇談会

例会を数回(うち1回は年會時に開催)と第58回X線分析討論会(11月、2日間、姫路市内)を開催するほか、第22回X線分析講習会(第11回蛍光X線分析の実際)(9月、3日間、麻布大学)を企画し、「X線分析の進歩」誌(第53集)を出版する。運営委員会は年に2回開催する。第17回浅田賞の選考・授与を行う。

⑤分析試薬研究懇談会

第71年會での講演会と幹事会および第19回ホスト・ゲスト・超分子化学シンポジウム(共催:岡山大学津島キャンパス、6月)での招待講演を開催する。

⑥溶液界面研究懇談会

講演会、役員会をそれぞれ1回(第71年會会期中)開催するほか、電子メールによる情報交換を行う。また、年會において界面に関するセッションを継続して開催できるよう年會実行委員会への働きかけを行う。

⑦液体クロマトグラフィー研究懇談会

運営委員会を11回、例会を12回(うち1回は年會時に開催)、液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を2回、第28回LC&LC/MSテクノブラザ、LC- & LC/MS-DAYs 2022を開催する。関東支部機器分析講習会第2コース「HPLCとLC/MSの基礎と実践」、JAIMAセミナーにおけるHPLC講習会などを支援する。「第5回LC分析士二段試験解説書」、「第5回LC分析士三段試験解説書」の出版に向け、それぞれ査読会を8月と2月に実施する。第82回分析化学討論会(茨城大学・水戸キャンパス)の前日に開催される第17回生涯分析談話会、第71年會(岡山大学・津島キャンパス)の初日に開催される第18回生涯分析談話会をそれぞれ後援する。LC分析士、LC/MS分析士の認証試験(各5回)に対する認証専門委員会を構成し、それぞれ試験を実施する。

- ⑧化学センサー研究懇談会
化学センサー・バイオセンサーをはじめ、関連分野の研究懇談会講演会（9月、第71年会（岡山大学・津島キャンパス）期間中）を開催する。必要に応じて他の研究懇談会とのジョイント講演会も検討する。また化学センサー関連国際会議等、関連する情報の情報交換を行う。女性 Analyst 賞の推薦等、メール審議事項の承認を行う。
- ⑨電気泳動分析研究懇談会
講演会を1回（年会期間中）開催するほか、第42回キャピラリー電気泳動シンポジウム（SCE2022）（10月、山形県鶴岡市）を共催する。電気泳動分析研究懇談会賞（寺部茂賞）の選考、褒章を行う。また、本懇談会ホームページ（HP）の整備を行い、シンポジウムの要旨集アーカイブのHP上での公開ほか、プロトコル集、基礎講座動画の作成・掲載など内容の充実を図る。
- ⑩イオンクロマトグラフィー研究懇談会
IC企画講演会（9月、第71年会、岡山大学、オンライン/対面）を開催予定。IC講習会及びJAIMAセミナー（9月第1週、JASIS開催期間中）を開催予定。第38回IC討論会（12月、熊本、オンライン/対面）を開催予定。運営委員会を年2回開催予定。IC分析士認証試験（二段6月下旬、初段2023年1月下旬）の実施および分析士専門認証委員会を年2回開催予定。運営委員会2回（年会及び討論会会期中）開催予定。
- ⑪フローインジェクション分析研究懇談会
第58回FIA講演会（11月予定、神戸）を開催する。褒賞委員会を第71年会（9月、岡山大学）会期中に開催する。第71年会会期中に研究懇談会講演会を行う。第82回分析化学討論会会期中および第58回FIA講演会会期中に「Journal of Flow Injection Analysis」(JFIA)誌編集委員会を開催するほか、第58回FIA講演会中にJAFIA委員会を開催する。JFIA誌を2回（6月、12月）発行する。日中韓分析化学シンポジウムの開催に協力する。
- ⑫環境分析研究懇談会
講演会を2回（第71年会会期中および6月または12月）、運営委員会を1回（第71年会会期中）開催する。また、他の研究懇談会や研究会との交流を深め、必要に応じてジョイント講演会を開催する。会員拡充に努め、メーリングリストとホームページを活用した情報発信・情報交換も適宜行う。
- ⑬表示・起源分析技術研究懇談会
講演会を3回（第71年会会期中および年度前半・後半）、運営委員会を2回開催する。また、必要に応じて他研究会とのジョイント講演会を開催する。
- ⑭レアメタル分析研究懇談会
講演会を2回（第71年会会期中および6月または12月）、運営委員会を1回（第71年会会期中）開催する。また必要に応じて関連する他の研究懇談会とのジョイント講演会を開催する。なおメーリングリストを作成し、適宜情報交換を行う。
- ⑮熱分析研究懇談会
講演会を1回開催予定。熱分析討論会を1回開催予定。運営委員会を4-5回開催する。またメーリングリストを活用し、情報交換を行う。
- ⑯溶液反応化学研究懇談会
講演会を1回と懇談会を1回（いずれも第71年会中）開催する。第44回溶液化学シンポジウム（鹿児島）を共催する。メーリングリストを作成し適宜情報交換を行う。
- ⑰電気分析化学研究懇談会
第82回分析化学討論会にて、討論主題「地方より世界に発信する電気分析化学」を立てて依頼講演8人（予定）を含むシンポジウムを実施予定である。また、第71年会において、依頼講演による講演会および運営委員会を各1回開催するほか、メールによる情報交換を行う。新規運営委員の募集を図る。
- ⑱ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会
第71年会において、依頼講演による講演会および運営委員会を開催する。他の懇談会とジョイント講演会を開催する。
- ⑲バイオ分析化学研究懇談会
本研究懇談会は、バイオ分析化学の研究者間での情報交換や交流、共同研究の促進等を目的とする。8月にオンライン又は感染対策を徹底した対面形式の夏の合同セミナー、9月に第71年会でのシンポジウムを企画する。また、運営委員会をさ

らに拡充・充実させると共に、ホームページなどでバイオ分析研究懇談会をアピールして会員増強を図る。

⑳スクリーニング分析研究懇談会

講演会を1~2回（年度前半・後半）、運営委員会を1回開催する。またメーリングリストを活用し、会員間での情報交換を行う。なお、計画は新型コロナウイルスの状況に応じて適宜見直すものとする。

8. 各支部の事業計画

定款第5条の事業を次のとおり行う。

【北海道支部】

- ①研究発表会：夏季研究発表会（7月上旬）、冬季研究発表会（1月中旬）を開催する。
- ②講演会：化学教育研究協議会（11月上旬）を開催する。
- ③セミナー：第38回分析化学緑陰セミナー（7月）、公開セミナー（9月）、第58回氷雪セミナー（1月上旬）を開催する。
- ④支部ニュースの発行：7月、12月（年2回）

【東北支部】

- ①研究発表会：みちのく分析科学シンポジウム2022の開催ならびに令和4年度化学系学協会東北大会を共催する。
- ②講演会：各地区講演会を開催する。
- ③セミナー：分離機能とセンシング機能の化学セミナー2022、2022年度日本分析化学会東北支部若手交流会を開催する。

【関東支部】

- ①講習会：機器分析講習会、分析化学基礎実習講座の開催を予定。
- ②地区活動等：新潟地区部会研究発表会、茨城地区分析技術交流会、群馬・栃木地区分析技術交流会、山梨地区分析交流会、横浜セミナー、若手交流会の開催を予定。
- ③表彰：新世紀賞・新世紀新人賞の公募と表彰を予定。
- ④産官学連携：分析イノベーション交流会の開催を予定。
- ⑤研究交流助成：研究フォーラム公募と助成を実施。
- ⑥セミナー：オンデマンドリカレント教育の準備と実施を予定。
- ⑦研究発表会：第82回分析化学討論会（2022年5月、茨城大水戸キャンパスを予定）の開催準備・開催実施。
- ⑧上記支部活動広報のためのホームページほか、常任幹事会で必要と認められた事項を実施。

【中部支部】

- ①研究発表会：第53回中部化学関係学協会支部連合秋季大会（愛知工業大学）を共催の予定。
- ②講演会：愛知・岐阜・富山での地区講演会、および研究者招聘講演会の開催を予定
- ③講習会：第32回基礎および最新の分析化学講習会を開催の予定。
- ④セミナー：第39回分析化学中部夏期セミナー、「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第22回高山フォーラムを開催の予定。

【近畿支部】

- ①講演会：支部講演会（4月、7月、12月）、近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会（3月）を開催予定。
- ②講習会：ぶんせき講習会・基礎編（1, 2）（5月、6月）、同・実践編（第67回機器による分析化学講習会）（7月）、同・発展編（会期末定）を開催予定。
- ③セミナー：提案公募型事業（随時）、第16回近畿支部夏期セミナー「ぶんせき秘帖」（8月、京都市）を開催予定。
- ④支部ニュースの発行（年2回発行予定）

【中国四国支部】

- ①講演会：支部講演会（3月）、岡山・広島・山口・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会、外国人学者講演会を開催の予定。
- ②セミナー：第28回中国四国支部分析化学若手セミナー（島根）を開催の予定。

【九州支部】

- ①研究発表会：第59回化学関連支部合同九州大会（7月）を開催の予定。
- ②講演会：第35回若手研究講演会および第40回夏期セミナー（7月）、支部講演会・見学会（11月）のほか、機器分析ワークショップや外国人講演会を随時開催の予定。
- ③講習会：第61回分析化学講習会（8月）を開催の予定。
- ④その他：地区懇話会、支部ニュースの発行などを行う予定。

令和3年度会計報告

貸借対照表

(令和4年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	141,000,854	154,349,819	△ 13,348,965
売掛金	1,011,120	3,132,250	△ 2,121,130
未収会費	1,438,880	0	1,438,880
未収金	3,471,930	3,372,462	99,468
棚卸資産	30,920,125	31,557,012	△ 636,887
貯蔵品	108,287	85,079	23,208
一年以内回収予定長期貸付金	199,920	199,920	0
前払金	1,542,236	639,377	902,859
仮払金	396,080	568,268	△ 172,188
流動資産合計	180,089,432	193,904,187	△ 13,814,755
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	16,410,221	11,738,918	4,671,303
標準物質開発基金	17,079,563	25,737,970	△ 8,658,407
分析技術教育基金	0	2,993,822	△ 2,993,822
国際交流事業基金	30,300,000	18,644,165	11,655,835
分析化学研究奨励基金	8,380,845	8,380,093	752
預り保証金引当預金	6,000,000	11,000,000	△ 5,000,000
支部研究懇談会特定預金	19,311,994	19,513,303	△ 201,309
特定資産合計	97,482,623	98,008,271	△ 525,648
(3) その他固定資産			
建物	8,946,745	9,368,320	△ 421,575
器具備品	56,660	113,310	△ 56,650
土地	30,607,799	30,607,799	0
ソフトウェア	622,170	863,010	△ 240,840
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	1,128,120	1,328,040	△ 199,920
その他固定資産合計	41,489,494	42,408,479	△ 918,985
固定資産合計	148,972,117	150,416,750	△ 1,444,633
資産合計	329,061,549	344,320,937	△ 15,259,388

貸借対照表

(令和4年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,207,075	10,214,148	△ 6,007,073
前受会費	25,980,800	33,165,300	△ 7,184,500
前受購読料	1,915,800	2,812,300	△ 896,500
前受金	925,000	930,000	△ 5,000
預り金	615,973	1,099,162	△ 483,189
仮受金	46,400	84,400	△ 38,000
賞与引当金	1,997,963	2,045,820	△ 47,857
未払消費税等	1,517,600	1,236,600	281,000
流動負債合計	37,206,611	51,587,730	△ 14,381,119
2. 固定負債			
退職給付引当金	44,800,133	42,663,032	2,137,101
預り保証金	6,000,000	11,000,000	△ 5,000,000
固定負債合計	50,800,133	53,663,032	△ 2,862,899
負債合計	88,006,744	105,250,762	△ 17,244,018
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	2,888,504	16,594,560	△ 13,706,056
指定正味財産合計	2,888,504	16,594,560	△ 13,706,056
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	238,166,301	222,475,615	15,690,686
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	241,054,805	239,070,175	1,984,630
負債及び正味財産合計	329,061,549	344,320,937	△ 15,259,388

正味財産増減計算書

(令和3年3月1日～令和4年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,201	701	1,500
基本財産運用益	2,201	701	1,500
特定資産運用益	4,773	5,293	△ 520
退職給付引当資産運用益	116	184	△ 68
標準物質開発基金運用益	3,392	1,460	1,932
分析技術教育基金運用益	29	1,004	△ 975
国際交流事業基金運用益	185	188	△ 3
分析化学研究奨励基金運用益	752	836	△ 84
預り保証金引当預金運用益	91	1,103	△ 1,012
支部研究懇談会特定預金運用益	208	518	△ 310
受取入会金	114,000	108,000	6,000
受取会費	75,684,536	79,842,830	△ 4,158,294
正会員会費	28,267,500	29,510,000	△ 1,242,500
学生会員会費	1,803,500	1,807,750	△ 4,250
維持会員会費	15,082,200	15,760,500	△ 678,300
特別会員会費	15,510,000	15,810,000	△ 300,000
公益会員会費	6,969,600	9,568,800	△ 2,599,200
支部研究懇談会会費	8,051,736	7,385,780	665,956
事業収益	76,419,223	75,359,134	1,060,089
購読料収入	4,753,790	5,042,329	△ 288,539
年会収入	6,923,650	6,302,670	620,980
討論会収入	6,452,050	5,316,080	1,135,970
講演会収入	2,013,500	622,000	1,391,500
講習会収入	5,173,428	4,404,011	769,417
研究懇談会収入	364,700	375,900	△ 11,200
技能試験収入	4,823,500	11,188,400	△ 6,364,900
分析士事業収入	1,467,100	587,950	879,150
印税収入	1,865,854	1,053,952	811,902
教育ビデオ・DVD 頒布収入	469,700	995,500	△ 525,800
標準物質頒布収入	13,714,280	14,358,270	△ 643,990
広告料収入	16,929,510	14,887,963	2,041,547
別刷頒布収入	10,865,289	10,015,617	849,672
複写権使用料収入	602,872	208,492	394,380
受取補助金等	14,207,413	11,826,167	2,381,246
受取国庫補助金	13,706,056	9,771,167	3,934,889
受取民間補助金	501,357	2,055,000	△ 1,553,643
受取自治体補助金	0	0	0
受取寄附金	0	30,000	△ 30,000
受取寄附金	0	30,000	△ 30,000
雑収益	423,746	179,237	244,509
受取利息	37,239	42,436	△ 5,197
雑収益	386,507	136,801	249,706
経常収益計	166,855,892	167,351,362	△ 495,470
(2) 経常費用			
事業費	117,778,979	126,826,277	△ 9,047,298
給料手当	19,084,251	23,058,352	△ 3,974,101
臨時雇賃金	8,394,951	7,434,992	959,959
退職給付費用	1,337,825	2,924,163	△ 1,586,338
法定福利費	3,301,502	3,869,346	△ 567,844
会議費	1,915,097	494,301	1,420,796
旅費交通費	1,352,766	1,690,298	△ 337,532
通信運搬費	2,602,537	2,111,736	490,801
減価償却費	693,771	723,774	△ 30,003
修繕費	1,045,440	1,045,440	0

正味財産増減計算書

(令和3年3月1日～令和4年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消耗品費	571,221	566,423	4,798
印刷製本費	28,827,891	27,417,018	1,410,873
光熱水料費	189,980	242,405	△ 52,425
賃借料	953,605	497,785	455,820
支払リース料	0	60,192	△ 60,192
保険料	0	0	0
諸謝金	6,086,878	5,192,778	894,100
租税公課	3,056,500	3,080,900	△ 24,400
支払負担金	438,928	530,075	△ 91,147
支払助成金	107,000	115,000	△ 8,000
委託費	36,442,389	43,556,457	△ 7,114,068
表彰費	1,124,164	1,842,069	△ 717,905
雑費	252,283	372,773	△ 120,490
管理費	33,386,227	40,730,662	△ 7,344,435
給料手当	12,153,124	13,903,188	△ 1,750,064
臨時雇賃金	1,096,080	2,228,880	△ 1,132,800
退職給付費用	799,276	2,979,104	△ 2,179,828
法定福利費	2,511,827	2,895,100	△ 383,273
福利厚生費	262,000	66,000	196,000
会議費	777	0	777
旅費交通費	241,760	409,126	△ 167,366
通信運搬費	995,905	1,147,712	△ 151,807
減価償却費	25,294	26,486	△ 1,192
修繕費	261,360	261,360	0
消耗品費	715,106	724,640	△ 9,534
印刷製本費	100,760	33,990	66,770
光熱水料費	55,943	81,039	△ 25,096
賃借料	402,138	359,469	42,669
支払リース料	3,888,940	3,692,432	196,508
租税公課	7,350	11,600	△ 4,250
支払負担金	1,365,548	1,764,389	△ 398,841
委託費	8,443,136	10,109,634	△ 1,666,498
雑費	59,903	36,513	23,390
経常費用計	151,165,206	167,556,939	△ 16,391,733
評価損益等調整前当期経常増減額	15,690,686	△ 205,577	15,896,263
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	15,690,686	△ 205,577	15,896,263
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	15,690,686	△ 205,577	15,896,263
一般正味財産期首残高	222,475,615	222,681,192	△ 205,577
一般正味財産期末残高	238,166,301	222,475,615	15,690,686
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	22,300,000	△ 22,300,000
受取補助金	0	22,300,000	△ 22,300,000
一般正味財産への振替額	△ 13,706,056	△ 9,771,167	△ 3,934,889
当期指定正味財産増減額	△ 13,706,056	12,528,833	△ 26,234,889
指定正味財産期首残高	16,594,560	4,065,727	12,528,833
指定正味財産期末残高	2,888,504	16,594,560	△ 13,706,056
III 正味財産期末残高	241,054,805	239,070,175	1,984,630

正味財産増減計算書内訳表

(令和3年3月1日～令和4年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	2,201	0	2,201
基本財産運用益	0	2,201	0	2,201
特定資産運用益	1,145	3,628	0	4,773
退職給付引当資産運用益	0	116	0	116
標準物質開発基金運用益	0	3,392	0	3,392
分析技術教育基金運用益	0	29	0	29
国際交流事業基金運用益	185	0	0	185
分析化学研究奨励基金運用益	752	0	0	752
預り保証金引当預金運用益	0	91	0	91
支部研究懇談会特定預金運用益	208	0	0	208
受取入会金	0	114,000	0	114,000
受取会費	41,868,136	33,816,400	0	75,684,536
正会員会費	14,133,750	14,133,750	0	28,267,500
学生会員会費	901,750	901,750	0	1,803,500
維持会員会費	7,541,100	7,541,100	0	15,082,200
特別会員会費	7,755,000	7,755,000	0	15,510,000
公益会員会費	3,484,800	3,484,800	0	6,969,600
支部研究懇談会会費	8,051,736	0	0	8,051,736
事業収益	61,135,381	15,283,842	0	76,419,223
購読料収入	3,803,032	950,758	0	4,753,790
年会収入	5,538,920	1,384,730	0	6,923,650
討論会収入	5,161,640	1,290,410	0	6,452,050
講演会収入	1,610,800	402,700	0	2,013,500
講習会収入	4,138,743	1,034,685	0	5,173,428
研究懇談会収入	291,760	72,940	0	364,700
技能試験収入	3,858,800	964,700	0	4,823,500
分析士事業収入	1,173,680	293,420	0	1,467,100
印税収入	1,492,684	373,170	0	1,865,854
教育ビデオ・DVD 頒布収入	375,760	93,940	0	469,700
標準物質頒布収入	10,971,424	2,742,856	0	13,714,280
広告料収入	13,543,608	3,385,902	0	16,929,510
別刷頒布収入	8,692,232	2,173,057	0	10,865,289
複写権使用料収入	482,298	120,574	0	602,872
受取補助金等	14,207,413	0	0	14,207,413
受取国庫補助金	13,706,056	0	0	13,706,056
受取民間補助金	501,357	0	0	501,357
受取自治体補助金	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0
雑収益	387,495	36,251	0	423,746
受取利息	988	36,251	0	37,239
雑収益	386,507	0	0	386,507
経常収益計	117,599,570	49,256,322	0	166,855,892
(2) 経常費用				
事業費	117,778,979	0	0	117,778,979
給料手当	19,084,251	0	0	19,084,251
臨時雇賃金	8,394,951	0	0	8,394,951
退職給付費用	1,337,825	0	0	1,337,825
法定福利費	3,301,502	0	0	3,301,502
会議費	1,915,097	0	0	1,915,097
旅費交通費	1,352,766	0	0	1,352,766
通信運搬費	2,602,537	0	0	2,602,537
減価償却費	693,771	0	0	693,771
修繕費	1,045,440	0	0	1,045,440

正味財産増減計算書内訳表

(令和3年3月1日～令和4年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
消耗品費	571,221	0	0	571,221
印刷製本費	28,827,891	0	0	28,827,891
光熱水料費	189,980	0	0	189,980
賃借料	953,605	0	0	953,605
支払リース料	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0
諸謝金	6,086,878	0	0	6,086,878
租税公課	3,056,500	0	0	3,056,500
支払負担金	438,928	0	0	438,928
支払助成金	107,000	0	0	107,000
委託費	36,442,389	0	0	36,442,389
表彰費	1,124,164	0	0	1,124,164
雑費	252,283	0	0	252,283
管理費	0	33,386,227	0	33,386,227
給料手当	0	12,153,124	0	12,153,124
臨時雇賃金	0	1,096,080	0	1,096,080
退職給付費用	0	799,276	0	799,276
法定福利費	0	2,511,827	0	2,511,827
福利厚生費	0	262,000	0	262,000
会議費	0	777	0	777
旅費交通費	0	241,760	0	241,760
通信運搬費	0	995,905	0	995,905
減価償却費	0	25,294	0	25,294
修繕費	0	261,360	0	261,360
消耗品費	0	715,106	0	715,106
印刷製本費	0	100,760	0	100,760
光熱水料費	0	55,943	0	55,943
賃借料	0	402,138	0	402,138
支払リース料	0	3,888,940	0	3,888,940
租税公課	0	7,350	0	7,350
支払負担金	0	1,365,548	0	1,365,548
委託費	0	8,443,136	0	8,443,136
雑費	0	59,903	0	59,903
経常費用計	117,778,979	33,386,227	0	151,165,206
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 179,409	15,870,095	0	15,690,686
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 179,409	15,870,095	0	15,690,686
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 179,409	15,870,095	0	15,690,686
一般正味財産期首残高	153,755,651	68,719,964	0	222,475,615
一般正味財産期末残高	153,576,242	84,590,059	0	238,166,301
II 指定正味財産増減の部				0
当期指定正味財産増減額	△ 13,706,056	0	0	△ 13,706,056
指定正味財産期首残高	16,594,560	0	0	16,594,560
指定正味財産期末残高	2,888,504	0	0	2,888,504
III 正味財産期末残高	156,464,746	84,590,059	0	241,054,805

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」

(平成 20 年 4 月 11 日(平成 21 年 10 月 16 日改正)内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 満期保有目的有価証券の評価基準及び評価方法

償却原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物…定額法を採用している。

(ただし、平成 10 年 3 月以前に取得した建物については定率法を採用している。)

器具備品…定率法を採用している。

無形固定資産

ソフトウェア…定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特 定 資 産				
退職給付引当資産	11,738,918	4,671,303	0	16,410,221
標準物質開発基金	25,737,970	40,003,526	48,661,933	17,079,563
分析技術教育基金	2,993,822	29	2,993,851	0
国際交流事業基金	18,644,165	11,655,835	0	30,300,000
分析化学研究奨励基金	8,380,093	752	0	8,380,845
預り保証金引当預金	11,000,000	0	5,000,000	6,000,000
支部研究懇談会特定預金	19,513,303	337,207	538,516	19,311,994
小 計	98,008,271	56,668,652	57,194,300	97,482,623
合 計	108,008,271	56,668,652	57,194,300	107,482,623

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基 本 財 産				
定期預金	10,000,000	-	(10,000,000)	-
小 計	10,000,000	-	(10,000,000)	-
特 定 資 産				
退職給付引当資産	16,410,221	-	-	(16,410,221)
標準物質開発基金	17,079,563	-	(17,079,563)	-
国際交流事業基金	30,300,000	-	(30,300,000)	-
分析化学研究奨励基金	8,380,845	-	(8,380,845)	-
預り保証金引当預金	6,000,000	-	-	(6,000,000)
支部研究懇談会特定預金	19,311,994	-	(19,311,994)	-
小 計	97,482,623	-	(75,072,402)	(22,410,221)
合 計	107,482,623	-	(85,072,402)	(22,410,221)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物	57,522,500	48,575,755	8,946,745
器具備品	5,961,193	5,904,533	56,660
ソフトウェア	1,204,200	582,030	622,170
合 計	64,687,893	55,062,318	9,625,575

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 該当事項はありません。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	日本学術振興会	16,594,560	0	13,706,056	2,888,504	指定正味財産
民間補助金	大塚電子等	0	501,357	501,357	0	-
合 計		16,594,560	501,357	14,207,413	2,888,504	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は以下の通りである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取国庫補助金計上による振替額	13,706,056
合 計	13,706,056

付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細
 財務諸表に対する注記 3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	そ の 他	
賞与引当金	2,045,820	1,997,963	2,045,820	0	1,997,963
退職給付引当金	42,663,032	2,137,101	0	0	44,800,133

財 産 目 録

(令和 4 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として(本部現金 154,782 円)	1,025,317
預金	預金合計		139,975,537
	普通預金		25,202,730
	三井住友銀行五反田支店	本部	13,877,524
	三井住友銀行五反田支店	本部講習会口	548,872
	三井住友銀行新宿通支店	本部	1,371,984
	三井住友銀行五反田支店	本部分析士口	564,317
	三井住友銀行五反田支店	本部分析士口	2,888,504
	三井住友銀行田園調布支店	分析化学セミナー用	1,268,850
	みずほ銀行五反田支店	本部	3,598,049
	三井住友信託銀行芝営業部	本部	2,201
	七十七銀行八幡町支店	若手交流会	126,041
	常陽銀行東海支店	第 82 回討論会実行委員会	956,388
	支部/普通預金		49,080,150
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	3,179,003
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部	6,463,225
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	19,271,046
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	5,293,415
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	7,264,865
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部近畿分析技術研究懇談会	2,703,269
	広島銀行西条支店	中国四国支部	4,905,327
	研究懇談会/普通預金		45,542,056
	みずほ銀行南大沢支店	環境分析研究懇談会	498,669
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	4,113,909
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	1,139,333
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	20,290,171
	りそな銀行五反田支店	高分子分析討論会	3,182,798
	大阪信用金庫杉本町支店	X線分析研究懇談会	2,201,589
	福岡銀行周船寺支店	分析試薬研究懇談会	505,466
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	7,895,297
	十六銀行黒野支店	電気泳動分析研究懇談会	655,503
	荘内銀行宝田支店	電気泳動分析研究懇談会	250,273
	四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	2,026,559
	三菱 UFJ 銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会	2,015,794
	三菱 UFJ 銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	305,373
	三井住友銀行八千代支店	レアメタル分析研究懇談会	79,757
	京都銀行下鴨支店	電気分析化学研究懇談会	116,600
	みずほ銀行渋谷中央支店	バイオ分析研究懇談会	25,774
	三菱 UFJ 銀行上野支店	スクリーニング分析研究懇談会	239,191
	ゆうちょ銀行(通常貯金)		9,253,926
		近畿支部	1,084,269
		九州支部	5,774,376
		溶液反応化学研究懇談会	59,024
		有機微量分析研究懇談会	1,723,583
		化学センサー研究懇談会	94,051
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	273,448
		溶液界面研究懇談会	97,235
		ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会	147,940
	ゆうちょ銀行(振替口座)	運営資金として	9,090,625
		本部	1,114,685
		環境分析研究懇談会	652,487
		有機微量分析研究懇談会	102,076
		X線分析研究懇談会	1,818,821
		フローインジェクション分析研究懇談会	3,055,987
		表示・起源分析技術研究懇談会	2,329,897
		レアメタル分析研究懇談会	16,672
	定期預金		1,806,050
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	506,050
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000
売掛金	標準物質, 教育 DVD	公益目的事業での販売商品に対する未収額	1,011,120
未収会費	会費	3 月入金分	1,438,880
未収入金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷	3,471,930
前払金	討論会・年会実行委員会他		1,542,236
討論会		第 82 討論会	676,112
その他		業者委託費	866,124
棚卸資産	会誌/標準物質/教育 DVD/分析士解説書	公益目的事業で販売している商品	30,920,125

財 産 目 録

(令和4年2月28日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
	標準物質			26,981,626
	DVD			1,870,100
	分析士解説書			2,033,681
	その他			34,718
	貯蔵品	切手, 印紙, はがき等	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	108,287
	一年以内回収長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以内回収予定額	199,920
	仮払金			396,080
	労働保険料		労働保険料未精算分	396,080
流動資産合計				180,089,432
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	運用益を管理費の財源として使用	10,000,000
				10,000,000
特定資産				
	退職給付引当資産		職員の退職金の支払いのために使用	16,410,221
	普通預金	みずほ銀行五反田支店		16,410,221
	標準物質開発基金		支払の財源として使用 標準物質開発事業の積立資産であり、 運用益を本事業の財源として使用	17,079,563
	普通預金	三井住友銀行五反田支店		17,079,563
	預り保証金引当預金			6,000,000
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金 であり、運用益を本事業の財源として使用	5,000,000
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	標準物質の販売で西進商事(株)から受入れた 預金で運用益を本事業の財源として使用	1,000,000
	国際交流事業基金		公益目的保有財産であり、運用益を国際交流 事業の財源として使用	30,300,000
	普通預金	三井住友銀行五反田支店		30,300,000
	分析化学研究奨励基金		公益目的保有財産であり、運用益を研究の奨 励及び研究業績の表彰事業の財源として使用	8,380,845
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部		8,380,845
	支部研究懇談会特定預金		各支部研究懇談会の積立資産であり、運用益 を本事業の財源として使用	19,311,994
	普通預金	七十七銀行大学病院前支店	東北支部企画基金	1,497,460
		七十七銀行大学病院前支店	東北支部活性化基金	3,018,801
		みずほ銀行名古屋支店	中部支部	2,190,576
		りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	1,201,252
		四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,622,741
		三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会国際会議	431,188
		三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会技術論文	339,762
		大阪信用金庫杉本町支店	X線分析研究懇談会	2,326,784
	定期預金	みずほ銀行五反田支店	関東支部	1,660,369
		りそな銀行五反田支店	高分子研究懇談会	3,023,506
		りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	1,999,555
その他				
	建物	220.4 m ² 東京都品川区西五反田		8,946,745
	器具備品	東京都品川区西五反田	主たる事務所で保有し、公益目的事業及び 法人の管理業務で使用	56,660
	土地	30.22 m ² 東京都品川区西五反田	主たる事務所 公益目的事業及び法人の 管理業務で使用している	30,607,799
	電話加入権	3490-3351 他 6 本	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	28,000
	ソフトウェア	論文投稿管理システム	公益目的事業で使用している	622,170
	敷金	近畿支部	入居している大阪科学センターに対する敷金	100,000
	長期貸付金	職員住宅購入資金貸付		1,128,120
固定資産合計				148,972,117
資産合計				329,061,549
(流動負債)				
	未払金	環境テクノス他	標準物質管理業務に対する未払額など	4,207,075
	前受会費	翌年度の会費の前受額	会員からの翌年度分の会費の前受額	25,980,800
	前受金	高分子分析研究懇談会他	翌年度実施技術講習会の前受額	925,000
	前受購読料	翌年度購読料の前受額	公益目的事業で発行する雑誌購読料の前受額	1,915,800
	預り金	所得税 社会保険料等		615,973
	健康保険料			111,240
	厚生年金保険料			197,640
	源泉所得税			9,323

財 産 目 録

(令和4年2月28日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
住民税			133,600
その他			164,170
仮受金			46,400
賞与引当金	職員4名の夏期賞与	職員4名の夏期賞与の支払いに備えたもの	1,997,963
未払消費税等			1,517,600
流動負債合計			37,206,611
(固定負債)			
退職給付引当金	職員4名の退職金	職員4名の退職金の支払いに備えたもの	44,800,133
預り保証金	(株)明報社 西進商事(株)	会誌広告に関して受け入れたもの 標準物質の販売に関して受入れたもの	6,000,000
固定負債合計			50,800,133
負 債 合 計			88,006,744
正 味 財 産			241,054,805

監事監査報告書

公益社団法人日本分析化学会

会長 早下 隆士 殿

令和4年4月12日

公益社団法人日本分析化学会

監事 田中俊逸 
監事 金澤秀子 

私たち監事は、公益社団法人日本分析化学会の令和3年3月1日から令和4年2月28日までの令和三年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規程第7条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人から業務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、令和3年度事業報告を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及び附属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

2. 監査結果

- 一、事業報告は、法令及び定款に従い、当社団法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当社団法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- 四、引き続き財政状況を注視するとともに、綿密な会員管理を望みたい。

以上

令和4年度予算書

(令和4年3月1日～令和5年2月28日)

(単位：円)

科 目	令和4年度予算額(税込)	令和3年度予算額(税込)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,000	700	3,300
基本財産受取利息	4,000	700	3,300
特定資産運用益	6,000	4,200	1,800
退職給付引当資産	100	100	0
標準物質開発基金	3,200	1,400	1,800
分析技術教育基金	700	700	0
国際交流事業基金	100	100	0
分析化学研究奨励基金	800	800	0
預り保証金引当預金	1,100	1,100	0
支部研究懇談会特定預金	0	0	0
受取入会金	57,000	55,000	2,000
受取入会金	57,000	55,000	2,000
受取会費	73,823,000	77,727,000	△ 3,904,000
正会員受取会費	27,022,000	28,646,000	△ 1,624,000
学生会員受取会費	1,708,000	1,648,000	60,000
維持会員受取会費	14,630,000	15,744,000	△ 1,114,000
特別会員受取会費	14,957,000	15,780,000	△ 823,000
公益会員受取会費	8,723,000	8,992,000	△ 269,000
支部研究懇談会受取会費	6,783,000	6,917,000	△ 134,000
賛助会員受取会費	0	0	0
事業収益	101,394,000	96,599,000	4,795,001
購読料収入	6,668,000	7,481,000	△ 813,000
年会収入	13,680,000	5,520,000	8,160,000
討論会収入	6,940,000	4,320,000	2,620,000
講演会収入	6,694,000	4,380,000	2,314,000
講習会収入	12,260,000	17,368,000	△ 5,108,000
研究懇談会収入(含む若手の会)	400,000	400,000	0
技能試験収入	6,534,000	6,534,000	0
分析士事業収入	5,258,000	5,372,000	△ 114,000
支部研究懇談会討論会収入	3,864,000	4,420,000	△ 556,000
印税収入	868,000	797,000	71,000
教材頒布収入	296,000	750,000	△ 454,000
標準物質収入	10,000,000	14,999,000	△ 4,999,000
広告料収入	20,884,000	18,731,000	2,153,000
別刷頒布収入	7,038,000	5,527,000	1,511,000
複写権使用収入	10,000	0	10,000
JIS改正受託収入	0	0	0
事務委託収入	0	0	0
受取補助金等	2,637,000	1,462,000	1,175,000
受取国庫補助金	0	0	0
受取民間補助金	1,300,000	970,000	330,000
自治体補助金	0	0	0
本部からの補助金	0	0	0
その他からの補助金	344,000	492,000	△ 148,000
受取補助金	992,000	0	992,000
受取寄付金	370,000	70,000	300,000
受取寄付金	370,000	70,000	300,000
雑収益	3,785,000	1,421,000	2,364,000
受取利息収入	39,000	1,000	38,000
雑収入	3,746,000	1,420,000	2,326,000
経常収益計	182,076,000	177,339,000	4,737,000
(2) 経常費用			
事業費	143,695,000	139,917,000	3,778,000
給与手当	22,397,000	21,954,000	443,000
臨時雇賃金	10,740,000	7,905,000	2,835,000
退職給付費用	1,808,000	1,496,000	312,000
法定福利費	3,483,000	3,460,000	23,000
会議費	18,904,000	14,467,000	4,437,000
旅費交通費	6,916,000	7,173,000	△ 257,000
通信運搬費	2,009,000	1,925,000	84,000

令和4年度予算書

(令和4年3月1日～令和5年2月28日)

(単位：円)

科 目	令和4年度予算額(税込)	令和3年度予算額(税込)	増 減
減価償却費	700,000	350,000	350,000
修繕費	1,045,000	700,000	345,000
消耗品費	2,930,000	2,933,000	△ 3,000
印刷製本費	19,064,000	27,942,000	△ 8,878,000
光熱水料費	250,000	250,000	0
賃借料	3,956,000	2,651,000	1,305,000
支払リース料	160,000	60,000	100,000
支払保険料	469,000	469,000	0
諸謝金	7,320,000	8,033,000	△ 713,000
租税公課	3,370,000	3,643,000	△ 273,000
支払負担金	284,000	444,000	△ 160,000
支払助成金	2,440,000	1,744,000	696,000
委託費	21,620,000	28,682,000	△ 7,062,000
表彰費	2,619,000	2,589,000	30,000
雑費	4,230,000	947,000	3,283,000
会長企画戦略経費	6,881,000	0	6,881,000
記念行事費・情報交換会費	100,000	100,000	0
管 理 費	38,381,000	37,422,000	959,000
給与手当	9,594,000	9,409,000	185,000
臨時雇賃金	5,755,000	6,936,000	△ 1,181,000
退職給付費用	886,000	641,000	245,000
法定福利費	1,460,000	1,483,000	△ 23,000
福利厚生費	72,000	72,000	0
会議費	0	100,000	△ 100,000
旅費交通費	996,000	500,000	496,000
通信運搬費	1,940,000	1,939,000	1,000
減価償却費	27,000	27,000	0
修繕費	261,000	257,000	4,000
消耗品費	1,027,000	554,000	473,000
印刷製本費	225,000	224,000	1,000
光熱水料費	97,000	97,000	0
賃借料	357,000	357,000	0
支払リース料	4,042,000	3,675,000	367,000
租税公課	7,000	7,000	0
支払負担金	1,623,000	1,623,000	0
委託費	10,008,000	9,517,000	491,000
雑費	4,000	4,000	0
会長企画戦略経費	0	0	0
経 常 費 用 計	182,076,000	177,339,000	4,737,000
評価損益調整前当期増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	238,166,301	222,475,615	15,690,686
一般正味財産期末残高	238,166,301	222,475,615	15,690,686
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 2,888,504	△ 16,594,560	13,706,056
指定正味財産期首残高	2,888,504	16,594,560	△ 13,706,056
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	238,166,301	222,475,615	15,690,686